

平成18年度の新潟県中越地震調査について

1. 平成18年度以降の方針

平成17年度の重点研究の報告書にも示したように、複合斜面災害の可能性は否定できず、今後も調査を実施していく。調査は、これまで通り春と秋の年2回実施する。

2. 平成18年度春の調査

- ・ 調査日：平成18年5月12日(金)～15日(月)
- ・ 参加者は以下の通り。

参加者リスト(20名)				
	区分	氏名	所属	備考
1	委員長	後藤 聡	山梨大学	
2	副委員長	稲垣 秀輝	(株)環境地質	
3	委員	伊藤 和也	(独)産業安全研究所	
4	委員	岩佐 直人	日鐵建材工業(株)	
5	委員	上野 将司	応用地質(株)	
6	委員	大石 哲也	(独)土木研究所	
7	委員	太田 英将	(有)太田ジオリサーチ	
8	幹事	大野 博之	長崎大学	
9	委員	小川 紀一朗	アジア航測(株)	
10	委員	櫻井 正明	(財)林業土木コンサルタンツ	
11	委員	佐々木 寧	埼玉大学	
12	委員	田村 俊和	立正大学	
13	委員	中濃 耕司	砂防エンジニアリング(株)	
14	委員	中野 裕司	中野緑化工技術研究所	
15	委員	中村 洋介	立正大学	
16	委員	野田 龍	林業土木施設研究	
17	委員	八村 智明	(財)日本環境衛生センター	
18	委員	平田 文	日特建設(株)	
19	代理	大久保 拓郎	(株)環境地質	
20	代理	宮原 哲也	(財)日本環境衛生センター	

- ・ 調査工程は、以下の通り。

土木学会斜面工学研究小委員会・新潟県中越地震災害 現地調査(平成18年5月)		
5月11日(木)		
委員会終了後、長岡に移動 宿泊場所(長岡市 ホテルルートイン長岡駅前)到着		
5月12日(金)・第1日目		
(A班)レンタカー借用後・出発—国道17号—小千谷—国道291号	(B班)越後湯沢駅集合後・借上車両で出発—IC越後湯沢—IC小千谷—国道291号—	
—旧山古志村役場合流—南平付近調査(旧役場より奥を往復)—国道291号—東竹沢調査—国道291号—国道252号—国道352号—種芋原—寺尾調査—種芋原—国道352号—国道252号—小出IC—長岡IC		
宿泊場所(ホテルルートイン長岡駅前)到着 打ち合わせ		
5月13日(土)・第2日目		
長岡—国道17号—太田川流域調査(濁沢町から高龍神社往復)—国道17号—小千谷—朝日川流域調査(国道291沿い:朝日山・浦柄・小栗山)—国道17号—長岡		
宿泊場所(ホテルルートイン長岡駅前)到着 打ち合わせ		
5月14日(日)・第3日目		
(C班)長岡—国道17号—国道291号—小栗山付近調査—国道291号—国道17号—芋川下流(竜光周辺)調査—	(D班)長岡—長岡IC—小出IC—国道252号—国道352号—ツ峰調査—国道352号—国道252号—国道17号—川口町—塩谷(大日岳)調査—	(E班)長岡—小千谷市内放置家屋等調査—旧山古志村内放置家屋等調査—長岡
E班以外:長岡駅または越後湯沢駅でレンタカー返却、解散 E班:宿泊場所(ホテルニューグリーン)到着 打ち合わせ		
5月15日(月)・第4日目		
(E班)長岡—長岡市役所—長岡市解体廃棄物仮置き場—国道17号—小千谷市役所—小千谷市解体廃棄物仮置き場—国道17号—長岡		
長岡駅でレンタカー返却、解散		

090 6928 7915